

2018.5.22 第1回子育て・教育部会

■これまでのワークショップ・検討会議の意見まとめ

論点①小規模校化による問題

- ・先生・保護者・子どもの距離が近い
- ・子ども同士での学びが少ない
- ・遠足などの際の交通手段が限定される

論点②青少年の問題

- ・集団活動の経験不足・切磋琢磨の機会が減った、部活が活発化しない
- ・ボール遊び禁止、貸出しに保護者が必要など、グラウンドが使いづらい
- ・落書き等、中学生のイメージがよくない
- ・居場所をなくしている、気持ちを発散する場所が必要

論点③子育て中の親の問題

- ・未就学段階の子育てを支える施設がない
- ・ママ同士悩みを話す場、集まりが少ない（共働き家庭もあるため）
- ・母子家庭が多く家庭での教育に難しさを感じている
- ・（少子化により）PTA活動が以前より大変

方策①教育環境にウリをつくる

- ・留学生による語学教室、連動した学校教育の導入
- ・地域産業を学べるキャリア教育（幸小アクセサリづくり）を伸ばす
- ・地域の教育環境を本気で考える場をつくる

方策②子育て世帯向けの住宅をつくる

- ・市営住宅の二世帯住宅化 ・空き地を使って若者向けの住宅を供給
- ・市営住宅のシェアハウス化

■今ある地域での特徴的な取組

青少年センター

どろんこ子ども会、ユースセッション、ふれあいサタデー、給食など実施。

てらこやハッピー

西教寺本堂・門徒会館にて、月1回近隣の小中学生に向けて夕食を提供。

小中学校での取組

げんきっ子プラザ、校庭のナイトー開放、いずみブックフェスティバルなど実施。

■部会の進め方

学校教育の再編

※まずはこちらを優先

To Do

- ・小規模校のメリット・デメリットを考える
- ・これからの小中学校の適正配置を考える（施設一体型小中一貫校化など）
- ・この地域での教育の取組を考える（やってみる）

全体まちづくりの中で考えること

[検討会議]

- ◎住環境コミュニティ部会
 - ◎地域活性化部会
 - ◎福祉部会
- それぞれと連動しながら検討していく

地域の子育て・教育環境づくり

To Do

- ・今ある取組を活かしてできることを考える（やってみる）
- ・地域に足りない取組をどう補っていくかを考える